

運営推進会議 議事録

日時：令和7年6月19日（木）14時～

場所：グループホーム北陽 2階

参加者：別紙参照

1. 施設運営の状況報告

(1) 利用状況

別紙参照

(2) 行事、研修等

年間行事予定は立てているけれど、現状は大きな行事はできていない。小さなイベント、例えば5月はこどもの日に新聞紙で兜づくりや母の日に花を作る、誕生日にケーキ作り（工夫を凝らしパンなどを使ってデコレーション）ご飯などを作ることを多くしている。予定は家族会でしたが予定とは違う行事、日頃からの役割をしてもらっている。施設周辺の木や枝の片づけ、ハーブ植える、花を生ける、蕨をとってきたものを調理など小さなイベントを行っている。

6月

県立大学の認知症カフェに出かけている。世代を超えて、認知症があってもなくても誰もが行ける場所。認知症を勉強しているのではなく、当事者や家族から話を気ことが出来る。ゲームなどしている中で自分から話をしたくなったら話せる。本人の気持ちを聞くことが出来る。

外部（施設や北稜高校）へ認知症研修に出かけている。興味を持ってもらう事できっかけ作りになれば。

6月23日鷹巣コミュニティセンターで社会福祉協議会主催の認知症研修会があります。

グループホームなどの施設で働くには、認知症介護基礎研修を必ず受けることになっている。

認知症を深めキャリアアップの為の実践者研修、チームを構築するリーダー的な存在になる実践リーダー研修を実践者研修1名、リーダー研修1名参加。介護について職員が向上できるように外に出て学ぶことをしていく。（認知症介護基礎研修のイメージ図参照）

今月本部からインストラクターを招き接遇研修を行い、接遇の基礎を学びました。

7月は熱中症や食中毒について研修予定。

高齢になると水分が入りにくので脱水にならないようお茶の時間だけでなく、こまめに水分を摂って頂く。

8月は夏祭りを予定。夏祭りをしたいけれど、どうすればよいか地域の方に協力いただけないか。

行事として地域との一貫として何かできないか。今年は家族会をしたいと思います。

園山先生は担当の利用者の方10名おられますが、園山先生には講和を頂きたいと思っています。家族会とするか地域とのお祭りにするか地域の方とできないかと思います。

利用者の方と一緒に何か作れるもの焼きそばやカレーライスと一緒に食べるなど、出来れば。

(3) 意見など

Q：家族会とは？家族同士の交流のようなものですか

A：交流もなんですが、イメージしたものでは、施設入居に至ってはご家族の負担や苦勞されて今の段階があるという事で、良くも悪くも悪いイメージの方が多い時もあった

のではないかと思います。施設に入居されていていいこともたくさんあって、離れられて少し自分の気持ちも楽になり余裕を持つことが出来たり、ご本人もこんなことが出来るんだ、という事もたくさん思われることもあると思います。そういうところをご家族に見ていただく。普段は離れた場所で頑張られている、たまに会って笑ったり喜んだりできること。あと参加の有無はわからないけれど、ご苦勞をされたご家族が集まられて、こんな苦勞もあったねと話が出来たり、今はこうだけれど前はこうだったねという話ができる場があったら、交流も踏まえていろんな形で自由に来ていただく。皆さんとにぎやかなひと時を過ごしていただく。

頻繁は無理だと思うけれど、年に1回とか形式はあまりこだわらず集まるだけでも。

A:日頃役割を持っておられます。写真には写っていますが、ご家族に見ていただくことがなかなかないので。入居されてご家族と一緒に食べられたことがないのでは、職員がそばにいるけれど、家族の代わりはできないので、ご家族と一緒に食べるということは喜ばれると思います。

職員会議でゴミ拾いや草刈りなどのボランティア、お手伝いできることがあればやりたいという事が出ました。

公園の草刈り、反対に向こうからここに来るという事も出来ます。

よし笛、銭太鼓、ポップコーンなど、綿菓子もあります。具体的なことは相談していく
6月23日認知症の研修は地域に有線放送を流しています。行きたいという人が多い。

地域の方と関わられているなと思いました。

夏にちなんだイベント、そうめん流しや簡易的なお祭りなど家族を交えて開催できれば季節感もあり交流の場になると思います。

7月そうめん流しをします。竹はあるのでもし、やられるのであればお貸しできます。

Q:認知症カフェはどういう形で進められていますか

A:2019年に初回開催、有志を募って4~5人を中心に2か月に1回のペースで始めました。大学だと敷居が高いと言われなかなか地域の方に来ていただけなくて、行くと何か教えてもらえる場所、公演が来ているのかなというイメージをもたれていました。参加者は固定でお互いが顔見知りになって、昔話の場所となっていました。コロナ禍になり地域の皆さんを呼べなくなり、学生だけで運営をしていた時期が2~3年ありました。学生だけが集まって認知症に関してしたいことや他のカフェへ勉強の為おじゃましてみるなど。

去年後半から月1回のペースで再開、広報活動が出来ていなくて出雲市のあんしん支援センターにチラシをデーターで送り出雲市で開催されているカフェに情報提供してもらったりしている。

学生がやりたいこと、次回何をやりたいか、学生と参加者で決めている。

毎回の様子は大学のホームページにアップしています。ぜひ見てください。

Q:地域との交流を躊躇されている施設が多い中、積極的に交流をされているのは素晴らしいなと思います。

A:施設内で昨年末から2月ころまで年末年始にならないくらいコロナが流行っていました。感染対策は大事だと思います。面会に関しても躊躇する部分もあるけれど、面会を利用者の方から取り上げるのはすごく寂しいことなので先生と相談しながら2月末から面会を解除しています。施設の中で感染症が流行るのはよくないことだけれど、ご家族に会う事や外に出かけることは大事なことでないので制限はしていません。

来られる方には体調確認をしている。基本的にご家族、親戚、友人、知人など面会 OK にしています。

職員から一言

勉強になることばかりで、イベント関係を楽しくできたらと思う
夜勤を主にやっていますが日中の皆さんが喜ばれている写真など見て、こんな表情をされているんだ、と思いました。夜勤ばかりではなくもっと利用者さんと話をしたり、楽しい会に参加しようと思っています。皆さんと職員が一緒になって交流出来たり、地域の方と仲良くなり、ここを良くしていきたいと思っています。

機会があれば認知症カフェに出かけたい。
もっと認知症の事を学んでこの施設が良くなるようにしていきたい。

次回 令和7年8月21日 14時～

利用状況

令和7年 6月

1F	お住まい地域	性別	年齢	要介護度	入居年月日	入居前
1	天神町	女	87	1	令和6年 2月5日	老人保健施設
2	今市町	女	88	3	令和7年 3月25日	自宅
3	武志町	男	79	3	令和6年 11月26日	自宅
4	湖陵町	女	84	4	令和6年 5月1日	自宅 (ショートステイご利用)
5	大社町	女	88	2	令和6年 2月15日	自宅
6	大津町	女	77	1	令和7年 3月21日	サービス付高齢者向け住宅
7	斐川町	女	88	1	令和6年 4月24日	自宅 (ショートステイご利用)
8	斐川町	男	71	4	令和6年 3月9日	病院
9	斐川町	男	93	3	令和6年 2月27日	介護付有料老人ホーム
			84	2.4	6名	

2F	お住まい地域	性別	年齢	要介護度	入居年月日	入居前
1	武志町	女	94	1	令和6年 10月1日	老人保健施設
2	斐川町	女	72	4	令和7年 2月10日	病院
3	塩冶町	男	63	2	令和6年 10月25日	サービス付高齢者向け住宅
4	松寄下	女	87	3	令和6年 6月10日	介護院
5	塩冶町	女	86	2	令和6年 11月27日	自宅
6	渡橋町	女	84	4	令和6年 2月16日	病院
7	斐川町	女	84	1	令和6年 8月25日	自宅
8	塩冶町	女	97	2	令和6年 2月13日	自宅
9	荻とつ町	女	92	2	令和6年 7月20日	ケアハウス
			84	2.3	3名	
			90才以上	介3以上	入居1年以上	

新規	生活保護
	後見制度
お住まいの地域	
天神町	1
大津町	1
渡橋町	1
大社町	1
今市町	1
湖陵町	1
斐川町	5
松寄下	1
塩冶町	3
武志町	2
荻とつ町	1
合計	18

行事等

【実施】	5月：お誕生日会 6月：認知症カフェ参加、外部へ認知症研修
【予定】	7月：地域交流（慰問、ボランティア）、七夕会 8月：夏祭り

研修等

【実施】	5月：認知症サポーター養成講座 6月：接遇研修 ※認知症実践者研修、認知症実践リーダー研修スタート
【予定】	7月：感染症勉強会、BPSDへの理解 8月：